

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ  
 代表者名 代表取締役社長 廣谷 彰彦  
 (JASDAQ・コード番号 2498)  
 問合せ先 取締役 平山 光信  
 経営管理本部長  
 TEL 03-6311-6641

## 業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 11 月 14 日に公表いたしました第 2 四半期連結累計期間業績予想と本日発表した実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

平成 24 年 9 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値の修正(平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

#### (1) 差異の内容

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 23 年 11 月 14 日発表)	11,000	△ 900	△ 950	△ 650	△ 128.17
今回修正実績(B)	12,896	△ 774	△ 725	△ 423	△ 83.57
増減額(B)－(A)	1,896	125	224	226	
増減率	17.2%	－	－	－	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 9 月期第 2 四半期)	11,562	△ 1,287	△ 1,278	△ 1,169	△ 217.55

#### (2) 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきまして、国内公共分野では、震災復興関連において第 3 次補正予算の成立後、設計業務の受注が計画を上回り推移し、また国内民間分野においても、再開発事業に係る建物解体工事から土壌汚染調査・浄化工事までのワンストップでの受注が好調に推移するなど、売上高は前回の予想を 18 億 96 百万円上回る見込みであります。

また、受注高の増加に伴う稼働率の改善により間接費負担が軽減すると共に、継続的な社内コストの見直しにともない、営業利益は前回の予想を 1 億 25 百万円上回る見込みであります。

経常利益、四半期純利益におきましては、円高の緩和に伴う為替差益の計上により、前回の予想を 2 億 24 百万円、2 億 26 百万円それぞれ上回る見込みであります。

なお、通期で見通しにつきましては、当第 2 四半期連結累計期間の受注及び生産状況は良好であるものの、第 3 四半期連結会計年度以降においては、震災復興関連予算や海外経済の影響を受ける日本経済等の受注環境に不透明感があり、平成 23 年 11 月 14 日に発表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

以上